

コウノトリ育む農法技術向上協議会（兵庫県豊岡市）

R5 補正
R6 当初

52

背景・課題

豊岡市では、化学肥料や化学農薬を減らした環境に優しい「コウノトリ育む農法」（以下「育む農法」）と呼ばれる農法を推進している。同市は「学校給食」にて令和4年度より、現在提供している減農薬米から多収穫米品種「つきあかり」の無農薬米の提供を開始しており、令和9年度には全量無農薬米の提供を目指している。そのため、「育む農法」無農薬タイプの栽培面積を今後拡大していくにあたり省力化・安定した収量確保の技術確立を目指す。

成果目標

- 「育む農法」の無農薬タイプ、減農薬タイプ及び慣行栽培ほ場での土壌分析を実施。
- アイガモロボットの活用による除草作業の省力化。

主な取組内容

- 「育む農法」無農薬タイプ、減農薬タイプ共に慣行と比較して「腐植」が低い傾向にあった（表1）が、「育む農法」栽培年数別で見た際、栽培年数10年以上で基準値並となっていることが明らかになった（表2）。
- アイガモロボットの活用により、作土層上部のトロトロ層が巻き上げられ（図）、無除草と比較してヒエの発生抑制効果が認められた。従来の「育む農法」無農薬タイプと比較して、アイガモロボットの導入により水田除草機の使用回数を2回→1回に減らすことができる。

土壌分析結果（一部抜粋）

表1. 栽培方法別による土壌成分結果

	EC ms/cm	pH (6.0~6.5)	腐植 (3.0~5.0)
育む農法（無）	0.18	5.46	2.91
育む農法（減）	0.19	5.63	2.9
慣行	0.19	5.3	3.63

表2. コウノトリ育む農法の年数別による土壌分析結果

	EC ms/cm	pH (6.0~6.5)	腐植 (3.0~5.0)
1~4年	0.19	5.58	2.64
5~9年	0.19	5.52	2.77
10年以上	0.19	5.76	3.27
全体平均	0.19	5.55	3.01

各分析項目内の（ ）は各項目の基準値（兵庫県の土づくり指針参照）を表している。



豊岡市

構 成 員

兵庫県、JAたじま、豊岡市

品 目

水稻



走行前



走行後

図.アイガモロボット走行前後のほ場の様子

アイガモロボット走行後は、作土層上部のトロトロ層が巻き上げられほ場全体的に濁りが見られた。

普及に向けた取組

慣行栽培から「育む農法」無農薬タイプに転換する際に増加する除草作業時間は、成育初期にアイガモロボットをほ場内で走行させることにより削減できることが判明したため、「育む農法」無農薬タイプの推進と併せて、「水田除草機+アイガモロボット」の除草体系を周知していく。

問い合わせ先

兵庫県豊岡農林水産振興事務所農政振興課
TEL：0796-24-3697